

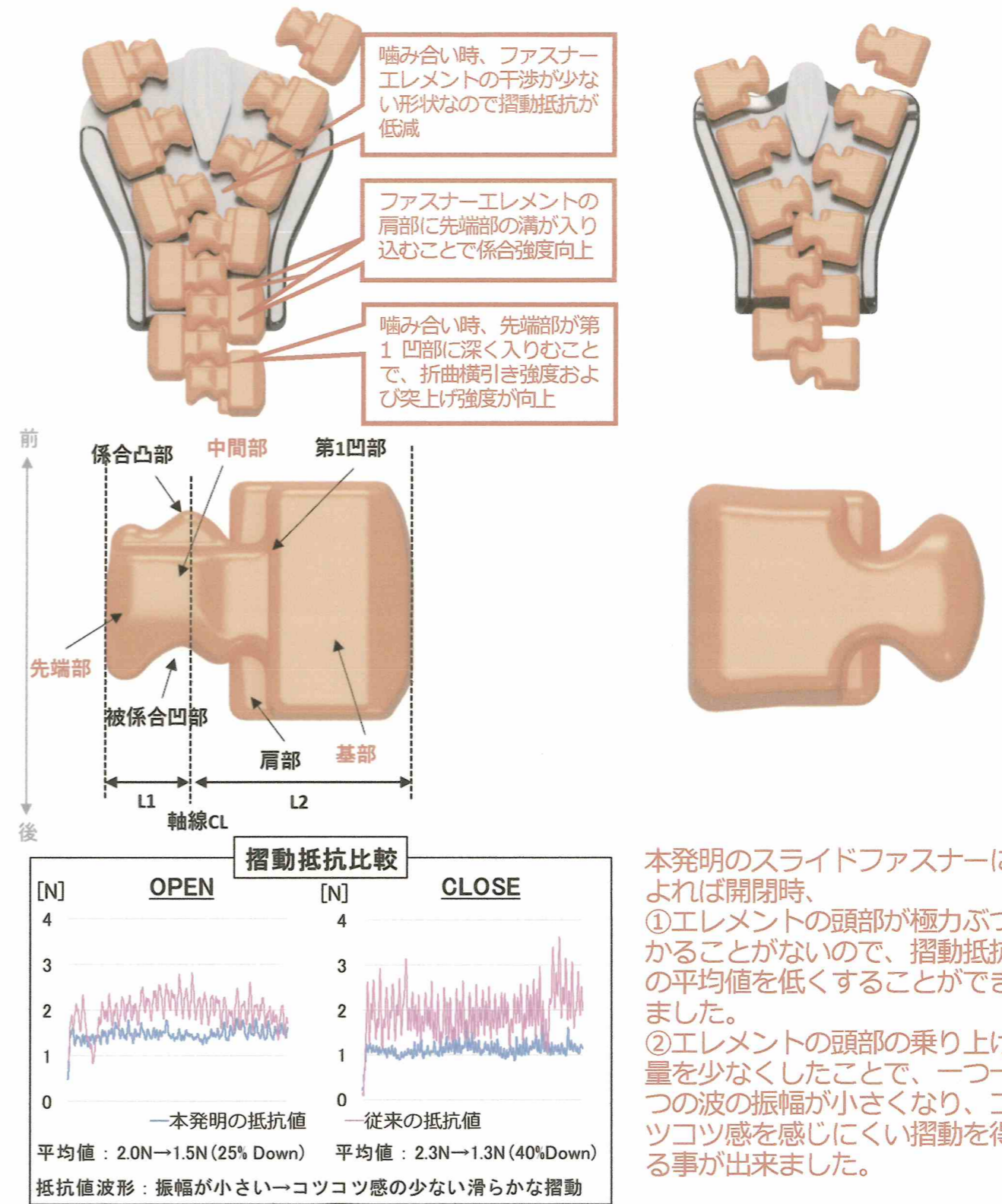
第59回富山県発明とくふう展 内容説明書 (令和3年度)

出品区分	1 企業の部 ・ 2 一般の部		受付番号	62
ふりがな	けいかいにかいへいかのうなすらいどふあすなー			
作品の名称	軽快に開閉可能なスライドファスナー			
ふりがな	わいけいけいあぶしきかいしや	ふりがな	こじま よしのり	
会社名	YKK 株式会社	発明者名	児島 佳敬 他 2名	
出願状況	□未出願 ■出願済	出願番号	特許・実用・意匠 2019- 518880	平 30年 5月 17日
		公開番号	特許公開 W02018- 212304	平 30年 11月 22日
		登録番号	特許・実用・意匠 第 6891272号	令 3年 5月 28日
特徴と要点 (必ずご記入下さい) 本発明のスライドファスナーは、開閉時におけるスライダの抵抗を著しく低減するもので、ファスナーエレメントの形状を従来のものとは全く異なることを特徴としています。				
従来の一般的なファスナーエレメントは、先端部の円形の頭部がぶつかりながら、また滑りながら乗り越えて組み合うため、摺動抵抗が大きくなっていました。そのためにスライダの移動に要求される力は身体的弱者、例えば、幼児や高齢者にとっては決して小さいものではありませんでした。				
そこで本発明のスライドファスナーは、ファスナーエレメントの形状を独自設計したことで、ファスナーエレメントの頭部ができる限りぶつからず、またエレメントの乗り上げ量も少なく組み合うようにしたのでスライダの移動に要する力が低減されたスライドファスナーを提供することができました。				
具体的には、ファスナーエレメントは、テープに取り付けられる基部と先端部、その間の屈曲又は湾曲した中間部からなっており、中間部は、前方に係合凸部と反対側に被係合凹部を形成すると共に、基部と中間部の間には、第1凹部と肩部を有する構成としました。				
このようにファスナーエレメント形状を特徴的な頭部形状にしたことによって、ファスナーエレメントに係合した時、ファスナーエレメント同士の干渉が少ないものとなり、大きな摺動抵抗の低減に繋がりました。また、基部の一端に肩部を設け、ファスナーエレメント先端に形成した溝と係合するようにしたため、ファスナーチェーン折曲時の折曲横引き強度の向上に繋がりました。更には、ファスナーチェーン突上げ時の突上げ強度の向上にも繋がりました。				

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)
(※審査用にコピー(縮小)しますので、濃く見やすく作成してください。)

【本発明のスライドファスナー】

【従来のスライドファスナー】



【記載注意事項】

- この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
- 従来のもの(方法)に比し、どこを(何を)どのように工夫したか、要点を判り易く図または写真でご説明下さい。
- 改良工夫箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。
- この内容説明書は出品申込書と一緒に、令和3年9月21日(火)までに事務局へ提出して下さい。